

未来型図書館の「いま」をお伝えします！

みんなでつくる未来型図書館



ニュースレター vol.14



未来型図書館の開館時期は、**2030年の小松市制90周年**を目指していくことが決定！いよいよ、来年度には公会堂や博物館等の解体作業にも入ります。60年間続いてきた景観が大転換し、芦城公園は新時代の象徴として生まれ変わります。これまでの歴史等を次の時代に受け継いでいきましょう。

基本計画づくり

現在、基本計画の策定に向けて、有識者等で構成されるアドバイザリーボードやリビングラボなどを通じて進めています。

基本計画では、未来型図書館の「未来」の定義をはじめ、複合施設機能の概要や建築計画（ゾーニング図の検討など）、管理運営計画、事業計画等を盛り込む予定です。現在の取り組み状況について一部ご紹介します。

「未来」の定義

- ☑ ビジョン・コンセプトを踏まえ「小松の未来を共に創る」というテーマのもと3つの小松の「未来」を創ります。
- ☑ これらは、未来型図書館における「未来型」を表すものとして位置付けます。

小松の「未来」を共に創る（共創）

まちを創る

施設の整備や運営にとどまらず「小松市の未来」を創る、まちづくりのプロジェクトまちづくりに、さまざまな架け橋を渡し続ける

こと・ときを創る

未来型図書館は、未来に起こる変化の中で、暮らしや施設を通して起こる体験（こと・とき）をつくり続けていく

ひとを創る

子どもは地域の未来。未来型図書館は、子どもたちの未来を創造するための環境を提供し続けていく

建築計画

※ ゾーニング案については、決定されたものではなく、今後の性能発注により受託した事業者において設計されます

建築空間イメージの検討においては、芦城公園とのつながり、吹き抜けなどを介して多様な活動が見える・つながる空間など、リビングラボでの意見をもとにゾーニング計画案として作成しています。右図は2案のうちの1案です。



全国の事例をチェック

未来型図書館の整備に向けて、推進チームのメンバーで「茨木市文化・子育て複合施設 おにクル」に視察に行きました。特に特徴的であったのは、各フロアを貫く吹き抜けに架かるエスカレーターは並行・折り返しではなく「交差」している「縦の道」！本施設も「共創」のプロセスを重視しながら整備されたそうです。

今後も全国の先進事例をご紹介しますので楽しみに！

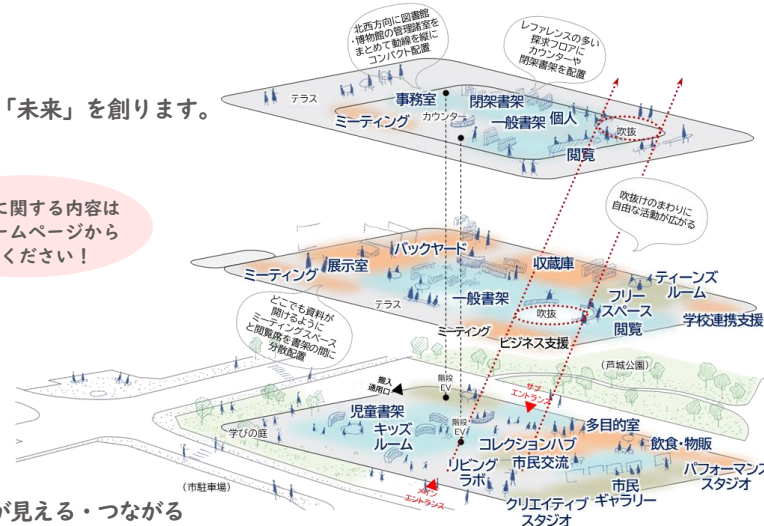


子育てスペース



縦の道

その他に関する内容は市のホームページからご覧ください！



裏面もチェック！

リビングラボ

第3回 (10/5)

第3回リビングラボのテーマは「未来型図書館を建築しよう!」。
建築家になりきって、未来型図書館の外装や内装イメージ、核となる図書館機能を中心に建築空間イメージを考えました。皆さんからは「小松らしい素材感」や「建物全体が公園」「ドーナツ型の建築」など、ユニークなアイデアがたくさん出されました。



ソフトバンク株式会社さん
提供の「SureTalk」を体験!
手話動作の特徴をAIが認識し、
リアルタイムでテキストに変換
してくれました

第4回 (12/7)

第4回リビングラボのテーマは「未来型図書館と芦城公園の関係をデザインしよう!」。
四季折々の風情が楽しめる芦城公園において、複合施設と公園の連携・活用策を検討しました。各グループからは、「桜や自然を活かした小松の未来」や「学びと体験の循環」などといったテーマのもと、芦城公園のゾーニング案が考案されました。



株式会社内田洋行さんより、
まちめぐりデジタルマップを
提供いただきました!小松市の
中心市街地の古地図と現在の
MAPを重ねあわせながら
懐かしいまちなみや思い出話に
盛り上がりました!



次回、今年度最終回(第5回)は
令和7年2月2日(日)に
開催します!テーマは
「リビングラボの小松モデル」を
考えよう!です



子ども司書

10月19日(土)に第3期子ども司書
養成講座が終了しました。今回の講座では、
7名の子ども司書が誕生!司書のお仕事体験や
絵本づくり、本の魅力を伝えるポップ制作等に
挑戦していただきました。第3期生から5名が
子ども司書クラブのメンバーとして加入。
26名体制で活動に取り組んでいきます!



みんなであつなぐ未来型図書館 リレーエッセイ

第14回目は旅する絵本図書館代表の二木裕子さんです!

絵本好きが高じて「私設」の図書館を運営しています。絵本を通じて人とコミュニティをつなぐお手伝いができればと「旅する絵本図書館」と名付けた取り組みを始め、2021年10月から市内4か所に絵本箱を設置して、無料で絵本の貸出をしています。

7月には自宅の物置を改装して、長年の夢だった図書室をオープン。ここには、1,200冊の絵本や小説などの本を揃えて、子どもだけでなく大人も利用できます。利用者にとって、ここで本を開く時間が忙しい日常を離れて、自分を取り戻す時間になっているのでは?と感じています。「車に乗れないし、まちなかまで行けないわ」とおっしゃる高齢の方。「産休中でお散歩がてらに立ち寄れるのが嬉しい」というお母さん。そんな利用者の顔を思い浮かべながら、おすすめの本を選ぶのが楽しみです。歩いて行ける場所に小さな図書室があり、未来型図書館とつながっていて、いつでも読みたい本が手元に届く...そんな風になったら素敵ですね。



二木 裕子さん

お知らせ

未来型図書館に関する各種情報は市ホームページ
などで随時発信中です!

note



Instagram



市HP

